

会 議 録

会議の名称	平成27年度第1回弘前市第三セクター評価委員会
開催年月日	平成27年12月17日(木)
開始・終了時刻	15時00分 から 15時40分まで
開催場所	弘前市立図書館2階 会議室
議長等の氏名	飯島 裕胤
出席者	委員長 飯島 裕胤 委員 花田 泉 委員 横山 航平 委員長職務代理者 大浦 雅勝
欠席者	なし
第三セクター 所管課職員の 職氏名	なし
事務局職員の 職氏名	ひろさき未来戦略研究センター所長 山本 昇 ひろさき未来戦略研究センター副所長 岩崎 隆 ひろさき未来戦略研究センター総括主幹 安田 和人 ひろさき未来戦略研究センター主査 野呂 康司
会議の議題	第三セクターの経緯と現状について
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 弘前市第三セクター評価委員会運営規則 ・資料2 弘前市第三セクターの運営に関する概要公表対象法人一覧 ・資料3 弘前市第三セクター評価委員会のこれまでの経緯等 ・資料4-① 第三セクター改革プランの総括(一般財団法人岩木振興公社) ・資料4-② 第三セクター改革プランの総括(一般財団法人星と森のロマントピア・そうま) ・資料5-① 第三セクターの概要(財団法人岩木振興公社) ・資料5-② 第三セクターの概要(一般財団法人星と森のロマントピア・そうま)

<p>会議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 委員会委員紹介 4 経営戦略部長あいさつ 5 組織会 6 案件 7 閉会 <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 5 組織会 委員長互選 委員の推薦により、飯島委員が委員長に互選された。 委員長職務代理者の指名 大浦委員が委員長職務代理者に指名された。 6 案件 (1) これまでの経緯と現状について <p>【以下、事務局からの説明、質疑等の概要】</p> <p>(委員長) それでは、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局) (これまでの経緯と現状について資料説明)</p> <p>(委員長) 以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 星と森のロマントピア・そうまの財務諸表で、平成24年度、25年度で経常損失が出ている状況で、平成26年度の経常収益が増加したことに伴って黒字化されている。これについて、どういった点で黒字化されたのかという点について聞きたい。</p> <p>(事務局) 岩木振興公社で支援するという事で、三千万円の寄付が行われた。最終的な決算でこういう利益が計上されたということである。</p> <p>(委員) 抜本的な改善でなく、資本注入によって一時的な改善がされたということ、24年度、25年度の売り上げの減については解決していないということではなかったか。</p> <p>(事務局) 支援によるものである。</p> <p>(委員) 岩木振興公社では黒字化が続いていたはずだが、25年度から少額の赤字となり26年度このような赤字となっている。この要因は。</p> <p>(事務局) 岩木振興公社の赤字だが、星と森のロマントピア・そうまに</p>
-------------------------------------	---

三千万円の寄付をしたということが主で、損失が出ている。

(委員)

単年度で処理したということで、次年度は前年度並にはもどる予定ということか。

(事務局)

その予定である。

(委員)

両法人とも、もともと類似制の高い組織だということで、緩やかな形ではあるが統合していくと方向性を向いているのかなというふうに思うのだが、具体的な話し合いが行われたとか、そういうことは近年あるのか

(事務局)

24年度から25年度までの取り組みとして、財団相互の職員派遣とか職員研修、情報交換を進めていくということを改革プランにあげていたが、具体的にはなかなかできなかったということである。

(委員)

もう少し詳しく聞くと、まず、どういう体制をとったか。なぜ至らなかったのか。

(事務局)

岩木振興公社の経営状況は特に問題なかったもので、岩木振興公社の体制づくりや取り組んできたことなどをロマンピアに情報提供し、具体的にできることを考えていた。法人の関係者の意向を聞きながら進めようとしたのだが、細かいところまでいかなかったということ。

(委員)

何か障害があったのか。

(事務局)

具体的なことがないと進まないということであった。

(事務局)

今回改革プランを新しくつくるということになるが、この両者をどうするかというのを具体的に整理していくというのが今回の大きなテーマになる。

(委員)

どちらも弘前にとっては貴重な観光・宿泊施設なのかな、ということは具体的な何かプランが提示されてこないとものがすすんでいかないのかなと。

(事務局)

公共施設の総合管理計画が策定されていて、市保有の公共施設の再編、統廃合を進めていくこととなる。その中でどういうふうな整理がされるのかがポイントである。

一方、宿泊施設なので岩木・相馬の観光振興という観点から両施設をどう使っていくのかというのが課題となってくるので、その辺を見極めつつ、この法人がどうというのも大事だが、今管理している施設自体がどうというのも大きな影響がある。

	<p>(委員) 施設の老朽化が進んでいるということを抱えているとなかなか収益改善もない、と相馬のほうには感じられる。施設ごとの必要、不必要ということの精査ということか。</p> <p>(事務局) 相馬はインバウンドの成果もあって外国人を含め少し宿泊については明るい兆しも若干はある。観光・宿泊施設としてどうなのかということを観光振興部の方でしっかり整理する</p> <p>(委員長) 他にないようなのでこれをもって会議を終了する。</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議は公開である。 ・傍聴者数 2名